一般財団法人mudef

年次報告書2011

目次

ごあいさつ　3
一般財団法人mudef概要　4
事業実施状況　5
　MDGs啓発活動　5
　Project Magoso　5
　Child AFRICA　6
　Love is Free Campaign　6
　SATOYAMA BASKET　7
　naturelink　8
　HOPE FOR JAPAN　8
事務局運営状況　9
　人員配置と体制の確立　9
　事務局広報　9
　収支報告　10
　協力企業・団体一覧　10

ごあいさつ

はやいもので、mudefが設立してから2年が経とうとしています。

2011年は、私たちにとって大きなチャレンジとなった1年でした。3月11日の東日本大震災をきっかけに始まったHOPE FOR JAPANでは、本当に必要な支援は何か、そしてmudefとしてできることは何か、何度も繰り返し問いかける結果となりました。同時に、世界各地の、私たちがサポートしている地域から届いた暖かい励ましのメッセージは、世界がつながっていることを、改めて実感させてくれるものとなりました。「あなたたちのために祈ります」という言葉に、どれだけ慰められ、励まされ、明日へ向かって進む勇気を受けたことでしょう。

そしてまた、活動の中で継続的に普及啓発を行うこと、伝え続ける難しさを学んだ一年でもありました。多くの取り組みの中から、たくさんのことを学ばせてもらったように感じています。

3年目を迎えるに当たり、mudefではさらに世界的規模の様々な課題に、「音楽」と「アート」を通じて取り組みを深めたいと考えています。

一般財団法人mudef　事務局長

長島美和

団体概要

一般財団法人mudef（ミューデフ）は、「Music ＋Design 」が組み合わさってできた言葉。
「音楽とART」を通じて、地球規模の課題を解決するために設立されました。
mudefの活動の軸は、「ミレニアム開発目標（MDGｓ）」。
MDGsとは、2000年、189の国の人々が同意した、21世紀の国際社会が真っ先に取り組むべき8つの課題。
2015年までに国際社会が達成すべき8つの目標を掲げています。
それぞれの目標に紐付いて行動することで、より具体的な活動を展開します。

mudefはMDGS(ミレニアム開発目標)を軸に事業を展開しています。

GOAL1　貧困と飢えの撲滅

GOAL2　初等教育の完全な普及
PROJECT MAGOSO
Child AFRICA

GOAL3　男女平等の推進と女性の地位向上

GOAL4　子どもの死亡率の削減

GOAL5　妊産婦の健康改善

GOAL6　マラリアなど感染症の蔓延を防止
Love is Free Campaign

GOAL7　環境の持続可能性の確保
SATOYAMA BASKET

GOAL8　開発のための世界的なパートナーシップ構築
星空の警備隊

事業実施状況

1. MDGs啓発活動

MDGsブログの掲載や、twitter、facebookを活用してMDGs関連の情報を提供。日常生活に密着した話題から知ってもらいたい課題へつなげていくことで、より多くの方へ問題意識を持ってもらえるよう工夫してきました。

2. Project Magoso

マゴソスクールの運営に携わる早川千晶氏、マゴソスクール運営者たちと協議した上で活動を行っています。今年度は、マゴソスクール出身の子どもたちへのセカンダリースクール奨学金として使用されました。

①マゴソスクール出身の子どもたちのセカンダリースクール奨学金

2009年より支援を行うエミテワに加え、2010年より、マゴソスクール卒業生のうち高等進学希望者で成績優秀者12名のセカンダリースクールに通うための奨学金支援を実施。2011年度は648,272ケニア・シリング（日本円約57万円）が使用されました。

支援対象(13名)	日本円(JPY)
エミテワ	95,772
ジョージ	26,735
オビリ	31,229
オドンゴ	47,670
インバラ	29,089
ナンシー	29,089
トニー	106,295
サミュエル	63,968
スティーブン	42,931
ザブロン	102,255
アグネス	38,580
バイオレット	67,813
ジョセー	92,196
計	773,622

※1Ksh≒1.13JPY（2012年1月5日時点）

2009年1月よりサポートしている生徒

Form2　エミテワ

2010年9月7日以降サポートしている生徒

Form4　ジョージ(再)、オドンゴ、トニー、サミュエル、スティーブン、ザブロン、アグネス、バイオレット、ジョセー

卒業　オビリ、インバラ、ナンシー、ブリジット

※ジョージは今年卒業予定でしたが、同じ学校からケニア中等教育修了試験（KCSE）を受験した1名の不正行為により、同じ科目を受けた全員の試験結果が無効とされました。そのためForm4をもう1年やり直す予定です。

※ケニア中等教育修了試験(KCSE)とは

ケニアでは、8年間の小学校を終えて中学校に進学するために、小学校教育課程修了試験（KCPE）を受けます。中等教育は4年間で、大学へ進学する場合、4年生は11月に行なわれるケニア中等教育修了試験（KCSE）を受験する必要があります。試験に合格した生徒だけが、大学への入学が認められます。国立大学の入学生の枠は8,000人と制限されているため、非常に狭き門となっています。

②NAIROBI BAGの販売による子どもの進学支援

マゴソスクールの子どもたちの進学を支援する企画として2011年6月より、マゴソスクールの子どもの進学支援に寄付されるNAIROBI BAGの販売を行いました。2011年10月9日からMISIAのライヴツアー会場での販売も実施。300個が完売し、マゴソスクールへの窓口となっているマイシャ・ヤ・ラハ基金へ販売価格3,300円のうち700円×300個の合計21万円を寄付、継続支援の費用へ充てることとなりました。

2. Child AFRICA

Child AFRICAは、mudef設立に先駆けて世界中の子どもたちが教育を受けられる環境づくりを目的に、2008年8月からスタートしたプロジェクトです。

①SCHOOL CARAVANの展開

途上国の子どもたちの置かれた現状を伝える、イベントリレー企画です。大学生を対象にパネル計25枚を貸し出し、学生主体での展示イベントの実施を、メルマガや国際協力関連ポータルサイトなどで募集しています。今年度は立教大学にて実施されました。

3. Love is Free Campaign

2009年7月よりmudefの前身である「Child AFRICA」によって開始した、マラウイのエイズ孤児センター「コンソル・ホームズ・オルファン・ケア」に通う子どもたちをサポートする事業です。

①蚊帳の配布事業

現地工場より住友化学のマラリア予防に効果を上げている防虫蚊帳「オリセット® ネット」21000張を購入しコンソル・ホームズ・オルファン・ケアのスタッフに寄り配布されました。、うち1000張は住友化学株式会社様によるマッチング寄付により実現しました同数の1000枚分が購入、寄付されたことで、現地には合計2000張届けられました。今回は第1弾の反省を踏まえ、マラウイの一般的な住居の構造住宅事情に配慮してを鑑み、吊るす箇所が1か所で済む円錐タイプの蚊帳を購入、2011年7月から現地で活動するNGO「コンソル・ホームズ・オルファン・ケア」の協力で配布を行いました。配布後には、蚊帳を受け取った子どもたちからのメッセージも受け取り、ウェブサイトへ掲載を行っています。

②エリナの家建築支援

エイズ関連疾患にて両親を亡くし、祖母と2人暮らしをしていたマラウイの少女エリナの自宅が老朽化で崩壊したことを受けて、mudefでは家の再建支援を行いました。2011年12月には建設が完了し、現在エリナは友人と二人で生活しています。建設支援は終了しましたが、エリナ自身に健康の不安があるため、mudefでは引き続きエリナの食事支援を実施する予定です。

③「星空のショーコラ第3弾」

vanilla sugar社製のチョコレート「星空のショーコラ」の価格の10%がLove is Free Campaignの寄付に充てられるキャンペーンの第3弾を実施。2012年3月末で終了し、蚊帳約800張分の寄付をいただきました。同社からの寄付は、蚊帳配布事業第3弾の費用に充てられます。

④「月刊ソトコト」連載

月刊ソトコト誌面及び、HPソトコト.netにてキャンペーンの活動を紹介記事が計6回掲載されました（2012年2月終了）。

マラリアとは

ハマダラ蚊が原因で発生するマラリアは、世界三大感染症の1つ。激しい高熱と合併症により、重篤な場合には死に至ります。世界100ヶ国以上の国で流行しており、全世界で、年間100万人以上の死亡者があります。死亡する人の多くが、体力の弱い、5歳未満の子ども。また、妊産婦が感染すると、流産の危険や、出生時の体重低下が起こる可能性もあります。またマラリアの感染により、働き盛りの成人が働けなくなることで、経済活動の停滞も引き起こされています。

コンソル・ホームズ・オルファン・ケアとは

マラウイ中部に位置するナミテテで活動する「コンソル・ホームズ・オルファン・ケア」。エイズと共に生きる人々（PLWHAs: People living with AIDS）を対象にした在宅ケアと、エイズなどで片親または両親を失った子どもたちへの支援を実施。約600名の現地ボランティアが協力して、7歳から18歳の子ども約14,000名の支援を行っています。

4. SATOYAMA BASKET

2010年3月、MISIAが国連事務総長より生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）名誉大使に任命されたことを受け、MISIAの生物多様性関連をサポートする事業のほか、生物多様性保護に関する事業を展開しています。

①COP10名誉大使・MISIAの大使業務の補佐

mudef理事である、COP10名誉大使MISIAの活動をサポート。環境省や国連とともに、生物多様性普及啓発のメッセージビデオやビジュアルの作成・展開、生物多様性検定の実施などを行っています。そのほか日本航空株式会社様の協力を得て、生物多様性啓発の広報物の展開やイベントへの参加をしたほか、山梨県にある生物多様性センターをはじめとする各地の視察もサポートしました。

生物多様性条約第10回締約国会議とは

2010年10月に愛知県名古屋市にて開催された、生物多様性条約（CBD）の10回目となる締約国会議（COP）。179の締約国、関連国際機関、NGO等から13,000人以上が参加し、遺伝資源の採取・利用と利益配分（ABS）に関する枠組みである「名古屋議定書」や、生物多様性の損失を止めるための新目標である「愛知ターゲット」などが採択されました。

②MISIAの森プロジェクト

2011年5月22日より石川県津幡町にある石川県森林公園で始まったMISIAの森プロジェクトは、公園内の約5ヘクタールの場所を舞台に森づくりと生きもの調査、アーティストによって工夫された巣箱を展示。これまでにゲーム機を使用した生きもの調査や9名のアーティストによる合計10点の巣箱の制作など、従来になり森の使い方を提唱しています。

③【受託事業】里山ガイドブック制作

石川県の受諾事業として、mudefでは、県内のイベントや小中学生を対象に里山を紹介する「いしかわ里山ナビ」を制作しています。

④ツシマヤマネコ応援キャンペーン

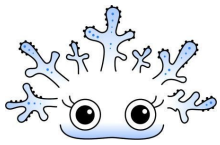
対馬市、環境省対馬野生生物保護センターとの共催による、ツシマヤマネコと人が共に住みやすい社会作りを応援するキャンペーンをスタートしました。絶滅危惧種であるツシマヤマネコを応援する企画を広く一般から公募しています。特別審査員にMISIAを迎え、様々なアイデアを募集します。

⑤愛知県×大学生×MISIAによる愛知県内PR活動

愛知県が推進する県内の生物多様性普及啓発の取組に賛同、若者達による生物多様性への取組を支援する取り組みです。県内の広報活動を様々な形でサポート、協力していく予定です。
第1弾として、2012年2月4日のMISIAライヴ「THE TOUR OF MISIA JAPAN SOUL QUEST」名古屋ライヴ会場で、学生を中心に県内の取り組みを紹介しました。

⑥SATOUMI BASKET

MISIAの視察をきっかけに、沖縄県読谷村（よみたんそん）に位置する「サンゴ畑～陸上のサンゴ礁」をサポートするプロジェクトをスタートしました。「さんご畑」は映画「てぃだかんかん」のモデルともなった施設です。



5. naturelink

mudef×プロスノーボーダー石川健二による、北海道旭川を中心とした環境保全プロジェクト。「THINK YOUR LIFE」をコンセプトに、プロスノーボーダーの石川健二発信による旭川の自然を「知る」企画を展開していきます。

mudef Snowboard

第1弾として、石川健二監修のスノーボードの販売を実施。ボードを活用したイベント開催なども検討中です。

6. HOPE FOR JAPAN

3月11日に発生した東日本大震災を受けて、mudefでは翌日にメッセージを発信、14日から支援を開始しました。

①募金活動

mudefでは3月14日より翌年2月29日まで一般からの募金を受け付けました。募金は現地で被災者支援にあたるNGO6団体へ寄付されるほか、mudef独自の支援活動に充てられています。

募金総額：88,080,965円

②メッセージの募集

メッセージを日本国内外より広く募集。
これまでに世界15カ国・地域よりメッセージを受理しました。メッセージは文章のみのものや映像、歌も含まれました。すべてウェブサイトにて掲載を行っています。

③パートナー団体への寄付

募金の寄付先としてmudefでは緊急救援活動の実績を持つこと、長く復興支援、被災者の心のケアにも取り組む団体であること、さらに密接に連携をすることが可能であることを基準に6団体を選定しました。

⇒ あしなが育英会 www.aashinaga.org
⇒ 特定非営利活動法人アムダ（AMDA） www.amda.or.jp
⇒ 特定非営利活動法人国境なき医師団日本 www.msf.or.jp/
⇒ 特定非営利活動法人ジェン（JEN） www.jen-npo.org
⇒ 公益社団法人Civic Force （緊急即応チーム） www.civic-force.org
⇒ 特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン（PWJ） www.peace-winds.org

④独自の支援活動 (現地での支援活動)

炊き出しや子ども向けのミニサッカー教室を開催するなど、より多くの方に楽しんでいただける「場」を提供しました。地元公民館へカラオケセットを贈呈したことで、地区のコミュニティ形成に役立っているとのご報告もいただいています。

⑤理事の取り組み

TAKURO

事業への寄付のほか、「GLAY」によるチャリティソングの収益やイベントで販売したグッズの収益を基金とし、石巻市内の小中高等学校及び同地区消防音楽隊への楽器支援を行いました。

MISIA

ライブで募金を呼びかけたほか、映画「friends もののけ島のナキ」の主題歌に起用された楽曲を、仙台や石巻など被災地を拠点に活動をする児童合唱団とレコーディングを実施。映画公開時には、県内の子ども5000名に鑑賞券をプレゼントしました。

信藤三雄

HOPE FOR JAPANのロゴや、避難所でのボランティア調整にあたっている方の名刺やステッカーをデザイン。支援活動に活用されました。

清水佳代子

清水佳代子氏が副社長を務める株式会社シミズオクトにより、MISIAのライブ会場にて活用された大きな円形の募金箱が制作・提供されました。さらに同社が携わったハロウィンイベントで募金活動が実施されました。

1. 事務局と理事会

mudefでは事務局が事業を運営し、事業計画などを企画局と連携して策定しています。事業の最終決定に携わる理事会は、2011年度は2回開催されました。現在mudefでは理事会の決定に基づいて事務局が事業の運営にあたっています。

2. 事務局広報

mudefではサイト運営による情報発信のほか、月1回ニュースレター「mudef news」の発行や月2回のメルマガ配信、プレスリリースの発行に加え、twitterやfacebookを活用して、情報提供を行っています。

掲載紙一覧リスト

2011/5/16	CHEMNET TOKYOニュース「住友化学、マラリア予防防虫蚊帳 アフリカへ寄付」
2011/5/17	化学工業日報「住友化学 マラウイで蚊帳を配布 マラリア予防活動の一環で」
2011/5/17	石油化学新聞日刊通信「住友化学とmudef、防虫蚊帳をマラウイに配布」
2011/5/17	JCHEM-NEWS「住友化学、マラリア予防防虫蚊帳オリセットネットをアフリカ南部マラウイで配布」
2011/5/19	北國新聞「県森林公園MISIAの森に プロジェクトが始動22日にオープニング行事」
2011/5/21	北國新聞「県版グリーンウェイブ 28 団体が賛同　植樹など実施
2011/5/21	朝日新聞「「MISIAの森」明日オープン」
2011/5/21	北陸中日新聞「MISIAさん協力森づくり　津幡で明日開幕　各地で植樹」
2011/5/22	北國新聞「緑の波「グリーンウェイブ」を広げよう」
2011/5/23	北陸中日新聞「MISIAの森オープン　生物多様性の重要性発信」
2011/5/23	読売新聞「津幡の森から「生物多様性」発信　MISIAさん提唱」
2011/5/23	毎日新聞「自然の豊かさ発信　津幡「MISIAの森」オープン」
2011/5/23	北國新聞「「MISIAの森」始動　県森林公園保全など5年間活動」
2011/5/31	北國新聞「MISIAの森に植樹　県森林公園コナラ3本、巣箱も設置」
2011/6/15	金沢情報「MISIAの森が石川県森林公園にオープン」
2011年6月号	広報津幡「合言葉は「LIFE IN HARMONY」MISIAの森プロジェクト始動」
2011/7/13	北國新聞「県森林公園写生大会　MISIA特別賞を設置」
2011/7/26	読売新聞「声援　復興めざして：歌手MISIAさん」
2011/8/29	北國新聞「北窓」
2011年10月号	SOTOKOTO「Love is Free Campaign Vol.1」
2011/9/11	北國新聞「夏の生態系データ化 県森林公園MISIAの森 親子らガイドサービス作成」
2011年11月号	SOTOKOTO「Love is Free Campaign Vol.2」
2011/10/12	国連生物多様性条約事務局コミュニケ「日本航空、国連生物多様性の10年のロゴを特別機「エコジェット」に導入」
2011/10/12	毎日新聞「ＪＡＬ：エコジェット・ネイチャーを報道陣に公開」
2011/10/12	JCAST　これが「生物多様性」特別機　JAL、5つのロゴを披露
2011/10/12	共同通信　復興支援に特別塗装機　日航、Ｂ７７７にロゴ
2011/10/12	復興支援アピールの777 日航、特別塗装機を公開 - MSN産経フォト
2011/10/12	日刊スポーツ「復興支援の日航特別塗装機、ＭＩＳＩＡも」
2011/10/12	msn産経ニュース「環境配慮の特別塗装機　日航が公開」
2011/10/12	羽田経済新聞「JAL「生物多様性」特別塗装機を公開ー環境保護・震災支援活動のロゴ描く」
2011/10/13	中国新聞「日航が公開　復興支援PRのB777」
2011/10/13	静岡新聞「日本航空　ロゴ公開　復興支援アピール」
2011/10/13	岩手日報「日本航空が復興支援をアピール特別機　エコジェット公開」
2011/10/19	日刊工業新聞「生物多様性メッセージ映像」
2011/11/5 S	OTOKOTO12月号「Love is Free Campaign Vol.3」
2011年12月号	イベントマガジンBANZAI「馬場フェスト2011」
2011年12月号	JAL機内誌SKYWARD「JAL×MISIA」
2011/12/5	SOTOKOTO1月号「Love is Free Campaign Vol.4」
2011/12/15	北國新聞「生物多様性の保全　著名人の巣箱展示でアピール」
2011/12/19	NHKニュース「おはよう日本」（7：00-7：45）（TV放映）
2011/12/20	読売新聞「GLAYが楽器贈呈　石巻の16校に生徒らミニ演奏会」
2011/12/20	河北新報「GLAYから16校に楽器提供」
2011/12/21	石巻日日新聞「被災校に楽器寄贈　東京の財団など義援金充てる」
2011/12/23	石巻かほく「アーティスト、学校支援　楽器289点、16校に寄贈」
2012/1/5	SOTOKOTO2月号「Love is Free Campaign Vol.5」
2012年1月号	JAL機内誌SKYWARD　タンチョウヅルフォトコンテスト
2012年1月2月	合併号　イベントマガジンBANZAI　COP10名誉大使ヴィジュアル掲載
2012年2月号	ハイスクールタイムズVol.33「「生物多様性」という言葉を聞いたことがありますか？」
2012年3月号	SOTOKOTO2月号「Love is Free Campaign Vol.6」
2012/2/22	読売新聞「環境・観光」
2012/2/22	朝日新聞「主な事業」
2012年3月	国連生物多様性条約事務局　2011年年次報告書（英語）
2012/3/6	オリコン「GLAY・TAKURO　被災地へ楽器を贈る」
2012/3/6	Yahoo！「GLAY・TAKURO　被災地へ楽器を贈る」
2012/3/10	石巻日日新聞「演奏で被災者勇気付けて 消防音楽隊に楽器寄贈ミューデフとジェン」
2012年3月11日	河北新報「GLAYから楽器届く　石巻消防音楽隊　再開の励み」
2012年3月22日	石巻かほく「GLAY楽器寄贈　演奏活動で勇気づけて」
2012年春季号	財団法人ユースワーカー能力開発協会「YOUTHWORKER」「DAYサポーターの集い2011」

収支

一般財団法人mudef　第2期収支報告
2011年5月1日-2012年4月30日

（単位：円）

経常収入	公益目的事業	一般寄付(指定なし)	2,549,457		
		指定寄付（HOPE FOR JAPAN)	24,679,132		
		指定寄付(生物多様性)	729,900		
		指定寄付(Love is Free Campaign)	2,982,418		
		指定寄付(国連)	469,950		
		指定寄付(Project Magoso)	210,000		
		公益共通	9,562,643	41,183,500	
	収益事業	物品販売	3,423,580		
		受託業務	1,500,000	4,923,580	46,107,080
経常支出	公益目的事業費	一般寄付(指定なし)	8,675		
		HOPE FOR JAPAN	24,679,132		
		生物多様性	2,184,210		
		Love is Free Campaign	2,982,418		
		国連	469,950		
		Project Magoso	210,000		
		公益共通	2,678,066	33,212,451	
	収益事業事業費	物品販売	2,139,107		
		受託業務	1,192,571		
		収益事業事業税	79,400	3,411,078	
	管理費	給与	395,200		
		通勤費	26,832		
		旅費交通費	3,543		
		通信費	41,526		
		運賃	34,805		
		交際費	103,305		
		会議費	73,768		
		印刷費	80,108		
		消耗品費	8,480		
		租税公課	1,000		
		図書費	4,095		
		支払手数料	8,452		
		雑費	21,970	803,084	37,426,613
収支差額					8,680,467
経常外費用		雑損失			831
法人税等					384,800
一般正味財産収支差額					8,294,836
前期末一般正味財産					3,629,019
当期末一般正味財産					11,923,855
指定正味財産		基本財産	3,000,000		
	期首繰越金	指定寄付金期首繰越額	7,100,516	10,100,516	
	当期受入額	指定寄付金当期当期受入額	30,527,616	30,527,616	
	指定会場振替額	一般正味財産への振替額	29,071,400	29,071,400	
	期末残高	指定正味財産残高	11,556,732	11,556,732	
	期末指定正味財産内訳	基本財産	3,000,000		
		HOPE FOR JAPAN	5,611,045		
		指定寄付(Love is Free Campaign)	2,345,687		
指定正味財産		障害者乗馬支援	600,000	11,556,732	11,556,732
正味財産期末残高					23,480,587

※国連への指定寄付は、2010年度のBIODIVERSITY BANDの収益の一部を寄付するプログラムとして。

協力企業・団体一覧

一般財団法人mudefは、多くの団体・企業の皆様からのサポートによって運営されています（敬称略・50音順）。

⇒ **Project Magoso**

特定非営利活動法人アマニ・ヤ・アフリカ
マイシャ・ヤ・ラハ基金

⇒ **Love is Free Campaign**

Consol Homes Orphan Care
PSI Malawi
住友化学株式会社
チョコレートデザイン株式会社

⇒ **生物多様性普及啓発事業**

愛知県
アサヒビール株式会社
アパグループ
石川県
石川県森林公園
公益財団法人　イオン環境財団
金沢大学
環境省
国連広報センター
国連生物多様性条約事務局
国連大学
対馬野生生物保護センター
津幡町
津幡町英田小学校
日本航空株式会社
株式会社メープルハウス
公益法人日本ユースリーダー協会
（旧財団法人ユースワーカー能力開発協会）

⇒ **HOPE FOR JAPAN**

あしなが育英会
特定非営利活動法人アムダ
特定非営利活動法人国境なき医師団 日本
特定非営利活動法人ジェン
公益社団法人Civic Force（緊急即応チーム）
特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン

⇒ **広報活動**

株式会社dmp

⇒ **その他活動**

株式会社エル

発行日：2012年7月
発行：一般財団法人mudef事務局